

5月度議員懇談会

デジタル技術を活用した観光振興について懇談



5月度議員懇談会を4月28日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し、71名が出席した。

開会にあたり八木会頭は、「ふくい桜まつりには1万2千名が来場し、桜の名所を巡る低速電動カート『ふくとウク』にも1千2百名が体験乗車。観光面における2次交通の可能性を再認識できた。2024年春の新幹線福井延伸に向けて、観光素材の磨き上げと交通手段の利便性向上に努力していきたい」と述べた。



会議冒頭で挨拶する八木会頭

また、ウクライナからの避難民について「会員企業に行った受け入れ調査では85社から前向きな回答を得た。実際の就労には言語、年齢、通勤手段などの制約も少なくないが、一方で義援

金や支援物資の提供に対する協力の申し出も受けている。官民を挙げて引き続き支援の輪を広げていきたい。」と協力を呼び掛けた。

続いて懇談に移り、福井県立大学恐竜学研究所の西弘嗣所長より「目指すのは新しいデジタル観光都市」をテーマに講演が行われた。

福井県立大学では、恐竜学や地質・古気候学などを学ぶ全国初となる恐竜学部（仮称）の開設準備が進められており、2025年4月の開設を目指している。

講演の冒頭で西所長は、新幹線による誘客で「恐竜王国福井」は全国に発信できる大きな観光コンテンツであると強調。常設の大型骨格標本と、観光客が参加できる本格的な発掘体験の両方が有るのは、全国で福井県が唯一であることを紹介し、恐竜を活用して更なる情報発信が必要であると述べた。

その上でAR（拡張現実）やVR（仮想現実）といったデジタル先端技術を駆使した新しい観光振興策を提案。国内外における大型ビジョンを活用した3D広告の導入事例を紹介しつつ、福井駅周辺のビルを利用した恐竜のバーチャル映像の放映プランを披露。観光客が旅先に求める「体験型」「意外性」

のリクエストに応えることができる有効なコンテンツになると説明した。



デジタル技術による恐竜コンテンツの情報発信について講演する西弘嗣所長

また、恐竜の研究者の立場として、最新の研究成果を活かした高品質なデジタル画像などを商業部門にも応用できるとし、新たな商品やサービスメニューの開発に向けたコンサルティンクにも繋がられると述べた。

結びに西所長は「恐竜学部の創設に合わせて、新しい観光スタイルの創造に寄与する研究に取り組み、産業界に貢献していきたい」と締めくくった。

【議員異動】（敬称略）

北陸電気工事株福井支店

（旧）田中 茂治（支店長）

（新）専田 武志（支店長）

事業開催結果

4.27 接種会場への飲料贈呈

担当／総務・経理課



大塚製薬(株)福井営業所と明治安田生命保険(相)福井支社から、新型コロナウイルス感染症対策事業への支援としてスポーツ飲料が贈呈された。当所ではワクチンの職域共同接種会場で、接種者や会場・医療スタッフの水分補給、体調管理などに活用を予定している。

会場／ショッピングシティ・ベル

4.13~ 新型コロナワクチン 職域共同接種

担当／総務・経理課



福井商工会議所の会員事業所を対象とした新型コロナワクチンの職域共同接種を開始。専用サイトで予約を行った方々が次々と訪れ、会場内の係員の指示に従い、3回目のワクチン接種を受けた。なお、本接種は今後、5月29日までの約1か月半にわたり実施される。

会場／ショッピングシティ・ベル

4.22 IPA に学ぶ実践 DX

担当／まちづくり・産業振興課



(公財)日本電信電話ユーザ協会福井支部との共催でDXの推進セミナーを開催。DXの定義やIPAの支援施策等について紹介されたほか、製造業における取組み事例を交えながら企業がDX推進に向けて社内を確認すべきことや、取組みの流れを解説いただいた。

講師／(独)情報処理推進機構 (IPA)
田中 雅也 氏 / 宮本 博司 氏
受講者／200名 (オンライン含む)
会場／福井商工会議所ビル コンベンションホール

4.13 開業相談会

担当／創業・経営支援課



開業に関する相談会を実施。開業を検討している相談者に対して、専門家が開業までの準備の進め方や開業計画書の作成、資金・経営計画の策定、販路拡大の取組みなどを説明。また、注意すべきポイント等についても助言。相談者はメモを取りながら、熱心に質問を行っていた。

会場／福井商工会議所ビル 2F
中小企業総合支援センター